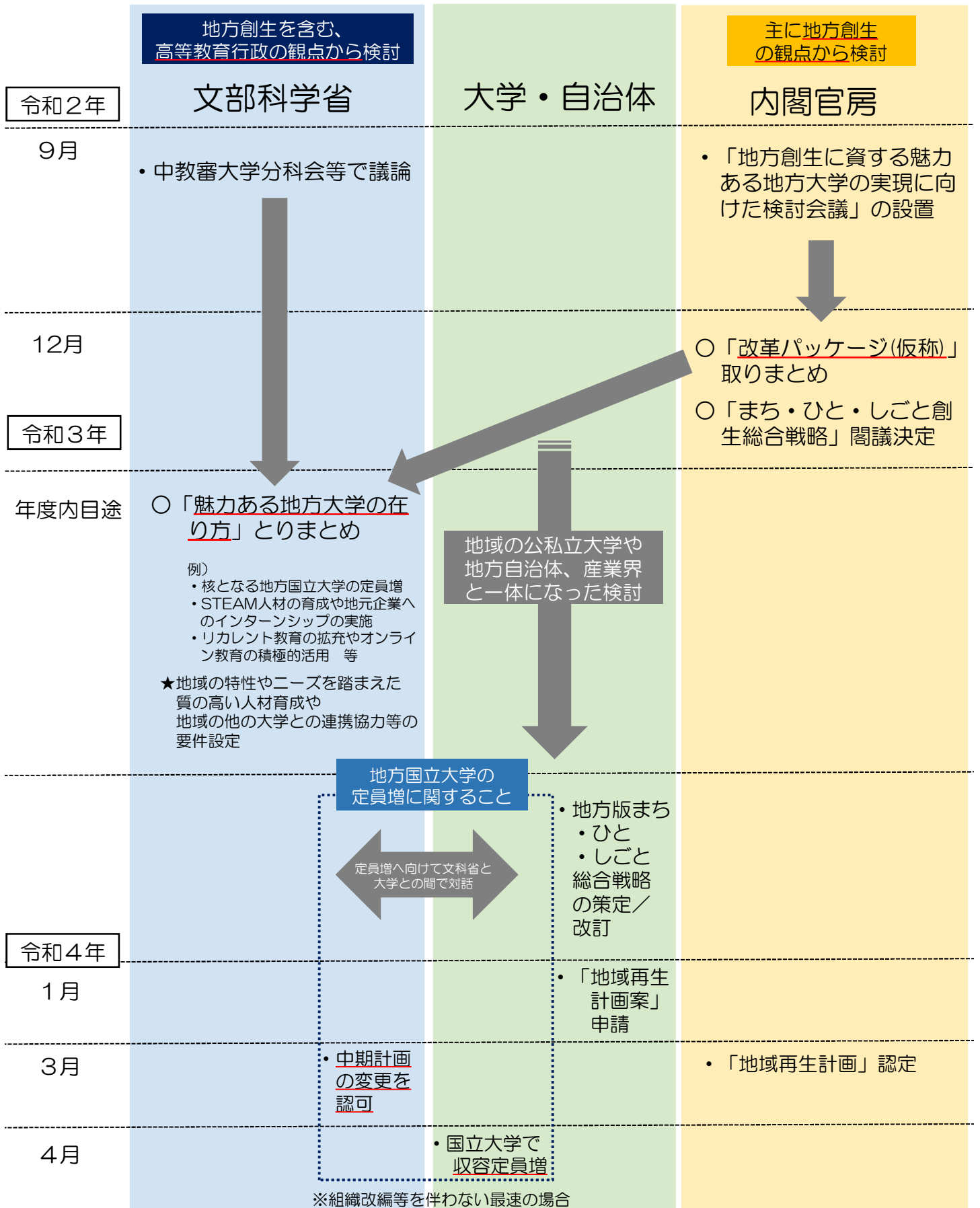


## 地方大学の振興に関する今後の流れ



**【地方大学の役割・地方大学を振興する意義】**

- 産業界でも、データサイエンティストを採用するために、わざわざ企業の研究所を都会にもってきている。この職種の人たちは本来、東京で仕事をする必要はなく、ほとんどオンラインでできるが、そうした人材が地方にいないために、東京に研究所を置くということが生じている。地方の国立大学でこうしたことが学べ、そのまま地方で就職することができるという流れを作ってほしい。
- 新型コロナウイルス感染拡大を受けて、テレワークによってどんどん一極集中から地方分散の流れが起きている。こうした社会の変化を踏まえた教育の在り方を検討すべきではないか。
- 地域の中の大学の学生収容力が原因で大学が貢献しようと思っても限界があった中で、国立大学の定員増を認めるという方針が出てきたのは非常に良いこと。
- 例えば公立大学は地域のコミュニティにとって必要不可欠な教育や医療・福祉にかかわる人材育成を行っている。大学の魅力を高めて学生を集めることも重要だが、こうしたコミュニティの維持に資する人材の確保は政策的に行っていないかなければならない。
- 大学の一番の役割は研究と人材育成。その中で、地方の大学は、地方の産業と一緒に、リカレント教育を通じて地方に必要な労働力をどう育成するかという観点が重要。地方創生に大学が資するのはリカレント教育がまず第一。
- 地方大学の役割は地域の産業創出に資する研究の推進と地方に必要な人材育成。若者だけでなく 30 代、40 代の層も地方から都市部に流出していつている。そうした中で、地方の人材の労働生産性を向上させる役割が地方大学にはあるという観点も必要。

**【「魅力ある地方大学」の考え方】**

- 魅力ある地方大学といった際に、誰に対する魅力なのか、誰に対する貢献なのか、広い視野で検討することが必要。
- この人口減少下で、10 年先、20 年先を見据え、その地域にはどんな特色があり、どのような産業があり、どのような人材を輩出していく必要があるのかというところから議論を始めるべきではないか。
- 東京対地方という構図で単に東京以外にある大学を地方大学として振興するのではなく、地域と一体化し、地域のために大学が頑張り、地域も大学と一緒に頑張っていこうとするような大学を、魅力ある地方大学として振興していく必要があるのではないか。

### 【魅力ある地方大学を実現するための地域との連携の在り方】

- 地域のステークホルダーが膝を突き合わせて協議をすることが必要。優れた先事例を横展開しつつ、それぞれの地域で地域の将来が全体としてどうなるのかというビジョンをしっかりと作り上げることが必要。
- 積極的に地方公共団体が大学に期待する役割を発信し続けたり、恒常的な窓口を設置したり、産業界を巻き込み、検討する場を恒常的に作るといった仕組みが必要であり、地域連携プラットフォームの構築が不可欠。
- 魅力ある地方大学を実現していくために地域連携プラットフォームを形成していく上では、産官学金労言の多様な各主体が参画して議論が行われることが望ましい。
- みなと同じように地方に総合大学ということではなく、地域の個性や、産業界・自治体・大学の個性を出していくことが必要。そこに地方創生交付金をはじめとする財源措置を組み込んでいくことによって、大学を中心としたまちづくりをすることができる。

### 【大学が地方創生の取組を進める意義】

- 地方対中央という構図の下、地方の方が劣位にあるという意識があるように思われるが、むしろ地方の方が生活の質は高く、そうした地域でより良い生活を送り、新しい産業を育てていくといった発想が必要ではないか。今後、産業構造が変わる可能性もあり、地方で産業を生み出すという積極的な方向性が必要。

### 【地方公共団体や産業界等の役割】

- 学生の意識として必ずしも東京の企業に勤めたいという訳ではなく、自分のふるさとを活性化したいと考える学生も多くいる一方、地方で就職する場所、魅力ある職場がないというのが現状。
- 地方の自治体・産業界が大学に対して何を求めているかを明確にしてもらうことが重要。
- 地域の知の拠点という意味を改めて考える必要がある。行政機関や医療、介護、教育など、地域に必要な人材を育成する拠点として、地域の教育機関が連携をすることで、その地域に必要な人材というものが良く分かるのではないか。

### 【どのような大学であれば定員増をする意義があるか】

- STEAM と言っても単純ではなく、大学での教育と社会での要請との間のミスマッチが生じないように、この内容をもう少し明確にしてどういう人材を育成するのかということを示す必要がある。
- AI やデジタル化など、世界の動きを地域に持ち込む分野と、農業や地域ごとに重要な分野とがある。それらの2つの観点から強化をすることが重要ではないか。
- STEAM といってもその地域に必要な STEAM は何なのかという議論が必要。それぞれの地域が特性を発揮するために必要な分野があるはずであり、そういうものを一般的な大学に必要なものとして書くと、地方の大学の振興には結びつかないことに留意する必要がある。
- 地方の私立大学の一部は定員を満たすことが難しく、赤字が続いているところもある。地方の国立大学が定員増をする際には、地域におけるバランスを慎重に検討していただき、地方国立大学だけでなく国公私や短期大学等も含めて、魅力ある地方大学を作るという考え方でいていただきたい。